（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所　キッズゆうゆう			
○保護者評価実施期間	令和8年　8月　10日	～	令和8年　9月　20日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	5
○従業者評価実施期間	令和8年　8月　10日	～	令和8年　9月　20日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年　10月　7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	**長い期間での療育**	・職員が変わらず、同じ環境での支援。 ・保護者・利用児・職員間の距離が近い。　・利用児への個別面談。	・職員内研修の実施。 ・保護者会・定期面談を通したペアトレ。
2	**社会体験が多い**	・子どもたちのリクエストを主に計画。 ・個別で練習をしてから社会体験で実施。 ・保護者と本人の課題を見直し、社会体験又は家庭内療育をしながらチャレンジする。	・就労スキルトレーニングの実施。
3	**SST・認トレの実施**	・一人ひとりの特性や課題・伸ばしたいところに合わせる。 ・学校や家庭の様子を含め、その日の本人の様子を見ながら柔軟に対応。	・社会体験・集団生活で実体験を積み重ねる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	**事業所の周知**	・事業所の場所が遠いと思われることが多い。	・SNS・HPの普及
2	**保護者・利用児との距離が近い。**	・距離が近いがゆえにすれ違い・葛藤などが生じることがある。	・専門性の向上のため、事業所内研修の実施。
3			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	多機能型事業所　キッズゆうゆう

公表日 令和8年10月22日

利用児童数　令和8年9月20日　回収数　5

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	2				・スペースは規定に沿ったものとなります。子ども達が療育を受けやすいスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	5					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1		1	3	・通い始めたばかりなのでわからないです。	・対象となる児童との交流の機会に中々、めぐまれず出来ておりません。そのかわりに地域の方との交流を大切にしております。
保護者への説明	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5					

等	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	**5**					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	**5**					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	**5**					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	**5**					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	**4**	**1**				・HPにマニュアルを載せています。また訓練はSNSや事業所通信、お便り等にて、報告させて頂いております。ご確認をお願い致します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	**5**					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	**5**					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	**5**					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	**5**					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	**5**				・子どもはとても楽しいとよろこんで通わせてもらっています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	**5**					

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所　キッズゆうゆう

公表日　令和8年　10月　22日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・職員の目が行き届きやすい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・家庭に近い空間になっているため、子ども達が落ち着きやすい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	・美術展、こども喫茶等の行事を行い、外部の方に多数参加いただいている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・計画書を作成する前に子どもと保護者に面談にてお話をし、意向や課題を確認している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・職員全員で立案を行う他、子ども達にも立案してもらっている。	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	**5**		・毎日、同じ内容にならないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	**5**		・平日は個別中心だが、休日は社会体験等により個別で積み上げてきたことを集団で実践している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	**5**			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	**5**			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	**5**			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	**5**			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	**5**			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	**5**		・こども企画により自己選択・決定を促している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	**5**		・一人のお子さんに対して支援会議を1～5回程度実施。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	**5**		・会議時に情報共有・会議方法などを事前に打ち合わせをしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	**5**		・連携ノートでの情報共有、送迎時の情報共有、電話による連携も実施。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	**5**			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	**4**	**1**	・現在、まだ該当する事案がない。しかし、移行支援はある。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	**3**	**2**		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	**5**		・地元に適したクラブ等がないため。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	**5**			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	**5**			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	**5**		・保護者会(ペアレントトレーニング・研修)・親子参加の社会体験等により実施。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	**5**			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	**5**		・子どもの意見を聞くため、1対1で面談をしている。意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	**5**			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	**5**		・定期面談を保護者の状況に応じて行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	**5**		・保護者会を年2回実施。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	**5**			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	**5**		・保護者会にあわせて、活動報告用の動画を作成して発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	**5**			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	**5**			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	**5**			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	**5**			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	**5**			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	**5**		・服薬の確認や予防接種(感染症)等をアセスメントで保護者の方に書いてもらっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	**5**		・食物アレルギーについては、関係機関の情報に基づき、対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	**5**			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	**5**			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	**5**			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	**5**			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	**4**	**1**	・身体拘束を行う必要のある事案がない。しかし研修をし、職員間で共有している。	